

県南 広域振興局長 様

提出者 ハイリマレリ岩手株式会社

住所 〒024-0332 岩手県北上市和賀町堅川目1-27-5

氏名 代表取締役 名城 敏夫

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

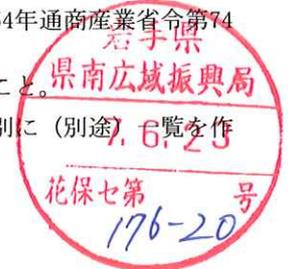
主たる工場又は事業場の名称	ハイリマレリ岩手株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市和賀町堅川目1-27-5	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,455 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	3 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		kl
		kl
		kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	年度						E-U-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年比二酸化炭素 排出量	前年比二酸化炭素 排出率
	エネルギーの使用量			販売したエネルギーの使用量						
	数量 A	単位	熱量(GJ) B	数量 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)	1.05	kL	35		kL	35	2			2
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	52.15	kL	1,914		kL	1,914	131			157
軽油	0.06	kL	2		kL	2	0			0
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	121.90	t	6,107		t	6,107	365		395
	石油系炭化水素ガス		Fm ³			Fm ³				
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t				
	その他可燃性天然ガス		Fm ³			Fm ³				
石炭	輸入原形炭		t			t				
	原料炭		t			t				
	コークス用原料炭		t			t				
	吹込用原料炭		t			t				
	一般炭		t			t				
	国産一般炭		t			t				
輸入無煙炭		t			t					
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		Fm ³			Fm ³					
高炉ガス		Fm ³			Fm ³					
発電用蒸気ガス		Fm ³			Fm ³					
転炉ガス		Fm ³			Fm ³					
その他の燃料	都市ガス		Fm ³			Fm ³				
	()									
	()									
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼル		kL			kL					
バイオガス		Fm ³			Fm ³					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		Fm ³			Fm ³					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料()										
小計①						6,959	499	552		-53
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	5,594.00	kWh	48,332		kWh	48,332	2,249	3,203		-951
電気事業者②(重複数除いている場合使用)	1,398.00	kWh			kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		kWh			kWh					
自家発電	太陽光		kWh		kWh					
	水力		kWh		kWh					
	風力		kWh		kWh					
	その他		kWh		kWh					
小計③						48,332	2,249	3,203		-951
合計①=①+②+③						58,391	2,748	3,755		-1,007

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1)のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	1,455	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	2,748 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量		t-CO ₂
合計		2,748 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

2024年計画書提出時目標(2026年 3,567t-CO2)
2026年度までに2023年度比5%削減することを目標に掲げ活動してきたところ
2024年度排出量が、2,748t-CO2と、2026年度目標を現時点で22.9% 過達した。

2023年実績 3,764t-CO2 2024年実績 2,748t-CO2 2023年度比 26.9%減
2026年目標 3,567t-CO2 2024年実績 2,748t-CO2 22.9%過達

- ・全体的に前年度使用量と比較した場合、少なかつたため過達する要因となった。
- ・全体の使用量の約80%を占めている電力を、20%分非化石エネルギー化したことも要因。
※電気80%(20%分が非化石) ガス15% 灯油5%

【具体的な取組状況】

○省エネ

- ・生産性向上によるエネルギー使用量の合理化
- ・非稼働日設備電源OFFの呼びかけ及び実施
- ・休日出勤時エアコンプレッサー稼働台数制限
※インバーター機の使用にて、負荷に応じた供給
- ・エアリーク修理活動による、コンプレッサー負荷率低下
- ・空調機器を導入し、スポットクーラー使用台数減少

○再生可能エネルギー(再エネ由来電力の調達)

- ・東北電力のよりそう、再エネ電気20%購入契約実施中(24年1月～)
- ※別紙1電気事業者②の欄に排出係数0として入力しています。
- ・非化石100% LPGを25年1月より(非化石証書宇付)購入
- ※別紙1液化石油ガス(LPG)には反映させておりません)

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

・東北電力⇒レジル株式会社(中央エナジー電力)へ切替、CO2排出係数「0」の電気を25年4月より購入
25年4月以降、年間通して使用電力CO2排出係数「0」となる。

・25年1月より、非化石ガス購入により25年度年間通して、CO2排出係数「0」となる。

※来年で2030年目標値 2019年度比57%減の目標値は達成見込。(t-CO2)

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	3 (2)	1,046 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	2,396 kg-CO ₂	51%
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	3 (2)			2,396 kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

計画書提出時目標(2026年目標1,117t-CO₂)に対して、2024年度実績2,396t-CO₂目標に対して、53%増となり未達となった。

【具体的な取組状況】

例年の比較し、今年度遠方への出張回数増、社用車での来客対応回数増が重なり増加した。出張時は公共交通機関の使用を促進していたが、アクセス不便などもあり社用車の使用をせざるを得ない状況であった。

継続し、出張時公共交通機関利用の促進を行う。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項